



国の暴走に 怒り沸騰 今こそ、市民の暮らしを支える市政を



切実な市民の
願い実現へ

政策要望を市に提出

新型コロナウイルス感染の第7波は過去最高の感染者と犠牲者を生み、その上に物価高騰が国民を苦しめています。しかし自公政権は、統一協会と政治家の癒着には踏み込まず、憲法違反が明白な安倍晋三元首相の国葬を強行し、国民の信頼を失っています。共産党市議団は、国の強権政治から地方自治が市民の命と暮らしを守る誓となるよう、8月通常会議に取り組み、来年度予算編成にあたって政策要望を行いました。

共産党市議団は去る10月11日、大津市の2023年度予算編成にあたり、切実な市民の願い実現にむけて220項目の政策要望を提出しました。コロナ禍の収束に目途が立たず、続く物価高騰が家計に大打撃を与え、暮らしを圧迫するなどさらに格差と貧困を広げています。不安定で低賃金の働き方が広がる中、人権を尊重した生活保護制度の活用や生活困窮者を支える取り組みの強化、安心できる

子育てや高齢者・障がい者の地域での暮らしの保障、感染症や災害から市民の命と健康を守る取り組みの強化、市内事業者の生業を守り地域経済の活性化、どこに住んでも安心して住み続けることができるよう公共交通の充実、相談窓口のワンストップ化、住民福祉の向上のための職員の技術継承や正規職員の増員を行うことなどを要望し、国言いなりでなく、地方自治を貫く市政運営を求めました。実現に向けて市民の皆さんと力を合わせ引き続き取り組みます。

市民の皆さんの声を 力に前進した要求

- 市民の命を守るための保健所人員の増員
- 昨年に引き続き、介護・福祉事業所でのコロナ検査
- 就学援助制度・新入学学用品費の引き上げ
- ハザードマップと避難行動パンフレットの全世帯配布
- 避難者の身体負担軽減のためのエアベッド配置 などなど

林まり市議は、旧統一協会及び関連団体のイベントなどに政治家や自治体が発見することは、団体の活動にお墨付きを与え被害拡大につながるから、今後の被害を防ぐために一切の関係を断つことを求めました。市は、反社会



- その他の質問項目
- ジェンダー平等を基盤にした包括的性教育
- 学校給食の無償化を求めて

しかし、共産党市議団が提案した「旧統一協会と政治家との癒着・政治のゆがみをただし徹底追及することを求める意見書」は、反対する議員が多数で否決されました。市民感覚と大きくずれており、議員の自覚が問われます。

疑われる団体との認識を示し、一切の関係を絶つと答



質問に立つ林議員

林まり議員

旧統一協会の深刻な 人権侵害から市民を守れ

国葬強行！ 反対する 市民の声を無視



共産党市議団は本会議初日に国葬の中止を求める決議案を提出しました。法的根拠もなく、憲法に違反し弔意を強要することや、国会を開かず多額の税金を投入することに反対し中止を求める声は、日に日に広がり、国民の半数を超え6割以上となりました。複数の市民団体からも市議会に対して中止を求める陳情があがりましたが、決議に反対する討論もなく決議案は共産党以外の反対で否決されました。



国葬当日、県庁前の国葬反対集会

質問紹介

2022年 8月通常会議

市民の皆さんの声を力に議会で論戦

市民の暮らしを守る公共交通の確保を！

たてみち秀彦
市議

市内のバス路線の減便や廃止が相次ぎ、暮らしに欠かせない公共交通の確保・充実が求められています。たてみち市議は、運行中のデマンドタクシーの検証を行い、利用者・地域住民の声を反映して、他の交通不便地域の交通確保にも生かすこと。減便・廃止の決定前に地域と情報共有し、共同して利用者を増やすなど積極的な取り組みを進めることを求めました。



地域を走るデマンドタクシー

市は 利用者、地域の声をアンケートや地域との協議で把握し改善に取り組んでおり、教訓を移動手段確保に生かしていく。地域、交通事業者と共同し利用促進の取り組みを強めると回答。

その他の質問項目
●デジタル化と個人情報の保護
●高齢者難聴の現状把握について

子どもたちに最善の保育環境を

杉浦とも子
市議

大津市では待機児童解消のために、相次ぐ規制緩和とともに、急速に保育所以外に認定こども園、小規模保育施設など多様な施設・事業が乱立し、保育環境の悪化が懸念されています。杉浦市議は、コロナ禍を通して小学校で少人数学級の重要性が認識され改善が進みつつあることを踏まえ、就学前保育においても保育環境を改善し質の高い保育を実現するために、保育士の配置基準の見直しを国に要望するとともに、市独自でも取り組みを前進させることを求めました。

市は 保育士配置基準の改善については、保育士確保が必要な現状にあることから、見直す考えはないと後ろ向きな答弁でした。

その他の質問項目
●災害から市民を守る取り組み

遅れている大津市の子どもの医療費無料化、拡充を

柏木けい子
市議

若い世帯への子育て支援として、県内市町では中学や高校卒業までと子どもの医療費助成対象を広がっているのに、大津市は小学校卒業まで。しかも、通院は1か月500円、入院は1日1,000円の負担があります。柏木市議は、県内で自己負担があるのは、大津市と東近江市だけであり、東近江市は中学校卒業まで助成を行っており、大津市は県内で一番遅れていると指摘し拡充を求めました。中学校卒業まで早くと願う市民とともに、今後も拡充実現に取り組みます。



市は 一番遅れているとは言えない、拡充は県の動きを見ると、願いに応えない答弁でした。

その他の質問項目
●新型コロナ感染第7波から市民の命を守れ

青柳団地私道の市道化で住民に安心の生活を

小島よしお
市議

市北部の青柳団地内の私道（里道含む）と既設排水管を初期の開発業者から2004年に無償で移譲された現在の事業者が、住民に高額な管理費等を要求、従わない住民には道路使用制限を行うなどトラブルが続発。一方、事業者は市提案の下水道敷設にも反対、裁判や仮処分の結果、ようやく2019年に工事が開始されました。小島市議はその後続くトラブルに悩む住民から、既設排水管を無料で使用している市自身が当事者として仲介するなど、私道の市道化を図るべきと質しました。

市は 仲介や交渉への関与は出来ないが、住民の相談や協議には適切に対応していくと答弁。

その他の質問項目
●市民の参政権を保障すること

◆物価高騰から生活と生業を守る予算を

補正予算案では、共産党市議団が提案した大学生への食費支援、子ども食堂への支援の予算が計上されました。一方で自動運転バスの実証調査費に1億3千万円も投入する他、湖岸なぎさ公園に民間事業者が施設を建設し公園の一部を管理させるための予算も計上。民間の収益のために都市公園を提供するパークPFIという手法です。物価高騰、コロナ感染が続く中、市民に寄り添わない予算に反対しました。追加で提案された非課税世帯・家計急変世帯の5万円給付等の予算については、1日も早い給付と今回支援の対象とならなかった世帯への給付を求めて賛成をしました。

◆水道事業の民営化につながる予算と議案に反対

市は、真野・新瀬田浄水場の更新、改良と管理を一括して民間事業者に任せるPFI手法を導入するための議案と予算を上程しました。水質管理は直営ですが、15年間も民間事業者に委託する事業では、市職員の技術継承や災害に対応できる人員確保の保障がありません。「命の水」を守る水道事業は、憲法25条の生存権に関わる自治体の重要な事業であり、市が責任をもって管理運営を行うべきです。

■社会問題となっている統一協会の徹底追及の意見書、市民の命と健康を守るための請願と意見書が否決

市民の願いを否決	日本共産党	新和会 (自民維新他)	湖誠会 (自民系)	公明党	市民ネット (民主系)	協生会	清正会	立志会 (自民系)
請願 子どもの医療費、中学校卒業まで無料に	○	×	×	×	×	×	○	×
意見書案 統一協会と政治家との癒着・政治のゆがみをたどす、徹底追及を求める	○	×	×	×	×	×	○	×
意見書案 県立3病院民営化・独立行政法人化中止を求める	○	×	×	×	×	×	×	×

○=賛成、×=反対 (31件の議案、7件の意見書案、1件の請願が提出されました)

8月通常会議の議案

2021年度決算

税金の使い方に問題

コロナが第4波から第6波へと猛威を振るい大津市でも経済的格差が広がり、市民生活に深刻な影響を及ぼす中、何より市民の命・暮らしを守るものが求められた一年でした。しかし、感染封じ込めに有効で精度の高いPCR検査の拡充は行わず、急ぐ必要のないマイナンバーカードの推進や、キャッシュレス決済ポイント還元、国の交付金を使った安易な予算措置等、市民の願いとかけ離れた一般会計に反対しました。

みなさんとともに

日本共産党
大津市会議員団

杉浦とも子
090-4491-1522

たてみち秀彦
090-7105-3648

林まり
090-5045-2490

柏木けい子
090-1919-5298

小島よしお
090-5058-2832